

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.39

2020 5月-7月

2020 5/10発行

TAKE FREE

Sinfonia

シンフォニア

五嶋

R y u G o t o
龍

デビュー25周年
ヴァイオリン・リサイタル

Close Up

新型コロナウイルス感染症に関するホールからのお知らせ

トゥガン・ソヒエフ指揮 パリ管弦楽団

東京佼成ウインドオーケストラ 第5回大阪定期演奏会

ほか

- 02 五嶋 龍 デビュー25周年ヴァイオリン・リサイタル
- 04 トッガン・ソヒエフ指揮 バリ管弦楽団
- 06 真夏のチャイコ3連投！ 熱狂コンチェルト 伊藤悠貴インタビュー
- 07 The Symphony Hall Big Band Vol.15 スペシャル・ゲスト 古澤巖
- 08 日本センチュリー交響楽団×ザ・シンフォニーホール
BEST OF BEETHOVEN 横山幸雄インタビュー
- 09 オールパツハ名曲選!! 真夏のオルガンコンサート 2020
ライト・シンフォニックコンサート ～大人の贅沢～
- 10 Concert Information振替公演のご案内
- 12 美しき日本のうた「秋」
- 13 東京佼成ウインドオーケストラ 第5回大阪定期演奏会
- 14 シャルル・リシャール＝アムラン オール・ショパンプログラム「雨だれ」
- 15 岡幸二郎 ベスト・オブ・ミュージカル・コンサート in OSAKA
“讃”平和を讃せて 広島交響楽団 第405回プレミアム定期演奏会 大阪公演
- 16 プロジェクションマッピング×パイプオルガン 新・超絶のオペラ座の怪人
関西フィル第6回親子定期演奏会 夏休み自由研究は、これで決まり!!
第2弾 ヨーロッパ一周! 音楽の旅♪
- 17 日本センチュリー交響楽団 ハイドンマラソン
(名曲シリーズ) 大阪フィル×ザ・シンフォニーホール
ソワレ・シンフォニー Vol.16
- 18 ABCテレビ主催公演・イベント情報
- 22 日本センチュリー交響楽団
- 25 ホールトピックス
- 26 堀江政生のシンフォニア・アワー Vol.39
- 27 Concert Calender 2020.5～2020.7

※本誌は4月24日までの情報をもとに制作致しました。
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、状況次第で記載公演が中止もしくは
延期となり、内容が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

5月のSinfonia会員先行予約

●先行予約:5月21日(木) 10:00AM～
※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。
※ザ・シンフォニー チケットセンター窓口、館内プレイガイドでの販売はございません。
※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。
●電話:ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
(10:00～18:00 火曜定休)
●WEB:http://www.symphonycall.jp/

登録費
年会費
無料!

シンフォニア会員登録方法
シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、
メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからのご登録
ザ・シンフォニーホール ホームページ
http://www.symphonycall.jp/ からご登録下さい。
▼ ハガキでのご登録
定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。
【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス
(メールマガジン受取りの場合)
【定型ハガキ表】531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3 ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係
※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。【@
symphonycall.jp】をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お
客様からご提供いただいた個人情報の提供については、個人情報に関する法令、規範に則り正しく管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の
目的のみに使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1)シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送(2)ザ・シンフォ
ニーホールで開催する座席をご案内する印刷物の発送(3)ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡(4)ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開
発・改善を目的とした調査・研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積(5)チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡(6)株式会社ザ・シン
フォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものといたします。○お客様の個人情報を、適正かつ迅速
に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報が安全に管理されるよう適切に監督します。

※記載内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

感染症予防対策への取り組み

ザ・シンフォニーホールでは、来るべき公演再開に向けて、新型
コロナウイルス感染拡大防止のため、下記のような対策を取っ
ております。

- 座席をはじめ、館内すべての場所において消毒・除菌を常に
行っております。
- 御手洗、ロビー各所に手指用アルコール消毒液を設置いたし
ます。
- ホール内の換気を徹底し、ロビーの出入口を開放するなどし、
外気を取り入れています。
- これまでもスタッフの健康管理を行って参りましたが、さらに
厳しい管理体制を整え、チェックを徹底致します。
- お客様と接するスタッフにつきましては、マスクを着用してご
案内、対応をさせていただきます。



お客様へのお願い

新型コロナウイルス感染拡大の収束がみられた折には、日本ク
ラシック音楽事業協会の指針に基づき、十分な対策を講じたう
えで公演を再開いたします。しばらくの間はお客様のご理解・ご
協力をもとにコンサートを開催したく存じます。下記をご確認の
上、ホールへ入場していただきますよう、お願い申し上げます。

- ご来場の際にはマスクの着用をお願い致します。
- 37.5℃以上の熱がある方はご来場をお控えください。熱がな
い場合も、咳等の風邪症状のある方は入館をお断りすることが
ございます。
- 入場口にサーモグラフィーを設置いたします。検知結果によっ
ては、検温をお願いする場合がございます。
- アルコールによる手指消毒にご協力をお願い致します。
- 「ブラボー」等の声援など、客席で大きな声を出すことはお控
えください。

※4月10日(金) 16:00～5月6日(水)の期間、「緊急事態宣
言」発出に伴い、窓口での払い戻しを一時中断させていただ
きましたが、中断の期間は、状況を鑑み、延長させて頂く場合
がございます。

謹告

この度の新型コロナウイルス感染症により尊い命を失われた方々へ衷心より哀悼の意を捧げますと共に、
現在闘病中の方々の一日も早いご平癒をお祈り申し上げます。
又、感染症対策の為の自粛要請等で、大きな被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。



The Symphony Hallでは2月末に政府から発せられた大規模イベントの自粛要請を受け、
直ちに準備を進め、混乱を避けるため2月29日当館主催公演は規模を70%削減し、翌3月1日より全ての公演を中止、
延期して現在も感染拡大防止に努めております。公演を楽しみにされていた皆様には急な事とは言え、
大変ご不便をおかけいたしました事を心からお詫び申し上げます。

そして当館を利用されている多くの主催者様、事業者様におかれましても、お客様の安全を第一に考慮して下さい、
大規模な経済的被害を覚悟の上で、中止、延期の決定をされ、結果1名の感染者も当館から出すことなく現在を迎えております事は
一重に皆様の迅速な決断の賜物と衷心より敬意と感謝を申し上げます。

The Symphony Hallでは現在も中止、延期された公演チケットの払い戻し作業を行っておりますが、
4月7日に発出された緊急事態宣言を受け、感染防止の観点から業務時間を短縮し、窓口業務を停止して郵送によるチケットの受取と、
振込による返金作業を可能な限りの感染対策と、従業員の密を避けながら現在も行っております。
お客様にはご不便をお掛け致しておりますが、膨大なチケット数を限定されたスタッフで対応しておりますので、
当初の想定より返金に時間を要しております事をお詫び申し上げます。時間は要しておりますが、
最後の1枚まで責任を持ってご返金致しますのでご安心頂き、今しばらくお待ち頂きますようお願い申し上げます。

The Symphony Hallは日本初のクラシック音楽専用ホールとして世界中から集まる素晴らしい音楽家の演奏を、
残響2秒の音響空間の中で更に美しくブレンドし、クラシック音楽ファンの皆様にお届けして参り、間もなく40年を迎えます。
私たちのミッションは音楽家、音楽を提供する事業者様とファンの皆様の懸け橋として、これまでも、
これからもThe Symphony Hallを未来へ継承する事と考えております。

今、この時も演奏機会を失った音楽家は未来を見据え研鑽を積み、自らを高め、
来るべき日にファンの皆様に感動と至福、そして癒しの一時を提供すべく日夜努力を続けています。
一日も早くこの事態が収束し、The Symphony Hallも含め、世界中に素晴らしい音楽が響き渡り、
多くの人々の心が癒される日が戻りますよう、クラシック音楽ファンの皆様と共に願ひ、その日に向けて、
今、私たちにできる事を着実に進め準備に邁進してまいります。
そして皆様のご来場を心からお待ちしております。

Sinfonia5月号を皆様にお届け致します。未だコロナウイルスの収束が見えない中ではありますが、
いつでも再開して皆様をお迎えできるよう準備を致しております。
外出制限の中、ご自宅でお過ごしの方にはゆっくりとご一読頂ければ幸甚です。
(予定されている演奏会は状況により開催の可否がまだまだ左右されることが予想されます。ホームページなどをご確認くださいませ。)

Sinfonia会員の皆様、音楽家、そして演奏会に関わる全ての皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

株式会社ザ・シンフォニーホール
代表取締役社長:田仲豊徳
取締役G.M・音楽総監督:喜多弘悦

リサイタルの場ではシーン、ストーリー、そして音楽という各要素を僕とピアニストで受け持つことになるので、ぜひ楽しみにして下さい。

表明した巨匠、ウラディーミール・アシケナージの名を挙げた。
「ツアーで」一緒にいたとき、目の前で彼の生き方の一片にふれて、『音楽が好き、ピアノが好き』ということが強く伝わってきました。多くの素晴らしい音楽家にお会いする機会に恵まれましたが、アシケナージほどの人物になって、自分の技術というか、目指す音楽に近づく努力をされる方を見たことがありません」というコメントは、そのまま音楽家五嶋龍を支える原動力に通じるものだろう。

その彼には、空手家や企業家として、社会貢献活動にも携わるといふ多面的な顔も備わる。今後新たにチャレンジしたいことは？

「実のところ、この瞬間に新たなチャレンジを考えるのは難しいですね。いろいろ考えを巡らせているつもりでも、いつもコロナ関係のことに戻ってしまいます。僕のような弱者にとっては、自分を守るイコール他者への感染源にならない、ということなので、そこでもはや思考停止に……」

コロナ禍が猛威をふるうニューヨークを拠点とする音楽家が五嶋

龍でもある。その口から発せられたとなれば、本当に真実味の宿る言葉だ。ザ・シンフォニーホールでハンヌ・リントウ指揮フィンド放送交響楽団と共演する5月23日のコンサートも（シベリウスの協奏曲を演奏予定だった）、コロナ禍のもと残念ながら中止。それゆえ彼のヴァイオリンに接するステージとして、12月の公演は心から待ち望まれる機会に他ならない。

ザ・シンフォニーホールでのリサイタルは2018年8月6日以来、約2年半ぶりとなる。

ザ・シンフォニーホールはホーム・ホール

その演目で目をひくのが、今年3月公開の映画『Fukushima 50』のサウンドトラックに基づく楽曲だ。

「これは僕が初めて携わった映画音楽です。『Fukushima 50』は何度観ても臨場感に圧倒され、それから考えさせられます。観られた方々が心に最も残るシーンはそれぞれ違い、全体的な感想も違うのは当たり前です。その違いを自分でも知りたいと思います。劇中ではストーリーやシー



©鈴木忍

ンの影になることに徹しましたが、リサイタルの場ではシーン、ストーリー、そして音楽という各要素を僕とピアニストで受け持つことになるので、ぜひ楽しみにして下さい。作曲家の岩代太郎先生も、それを前提で作曲して下さいました！」

そんな音楽を共有する聴衆へ送る、彼からのメッセージ。

「ザ・シンフォニーホールは僕にとつてはいつも大変近い存在で、ホーム・タウンというかホーム・ホールです。お会いするのを心から楽しみにしています！」

(文 木幡一誠)

THE 25th ANNIVERSARY VIOLIN RECITAL

KADOKAWA PRESENTS

デビュー 25周年 ヴァイオリン リサイタル

五嶋 龍

RYU GOTO

Interview

楽壇デビューから今年で25周年を迎える五嶋龍の日本ツアーが決定！
今冬、ザ・シンフォニーホールに帰ってくる。約2年半ぶりに当ホールで行うリサイタルに向けて、インタビューをお届けする。



©鈴木忍

ターニングポイントはない。いかに彼らしい。

パシフィック・ミュージック・フェスティバルで楽壇デビューを果たしたのが7歳のとき。それから25周年という節目の年を迎えた五嶋龍である。ヴァイオリニストとして歩んできたキャリアも、それこそ神童と呼ばれた頃から独自の信念に貫かれたものに映る。これまでの演奏活動を振り返って、「ターニングポイントはなし」です。これからありそうですね」と語る言葉がいかに彼らしい。

「あくまで僕自身のポリシーというか、こうあるべきだと自分で納得していること。それは、ヴァイオリンの音自体が好きですから、まずは自分の好きな音楽自分の好きな音色を伝えたいという願いです。それもちだむやみに好き、というのではなく、そこまでたどりつくのに試行錯誤したり、作曲者の意図はどんなものだったか、ということなどを探求したりして、それを通じて様々なテクスチャーが自分の好みの中へ組み込まれていくのだと思っています」

特に影響を受けた人物は アシケナージ

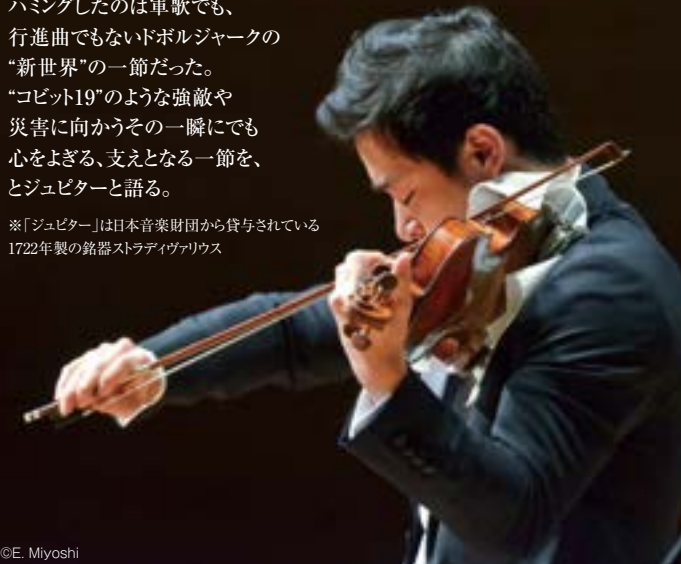
今まで共演した中で特に影響を受けた人物は？という質問に彼は、先ごろ惜しまれながら引退を

from 五嶋龍

皆様、季節のご挨拶もご機嫌お伺いもあったものじゃない。「戦っておられますか!」だ。

僕の祖父が「一日中突撃ばかり続いていた夜、草の上で寝転がって空を見たらたくさんの星がキラキラしていて、このメロディが流れてきたんだよ。」とハミングしたのは軍歌でも、行進曲でもないドボルジャークの“新世界”の一節だった。“コビット19”のような強敵や災害に向かうその一瞬にでも心をよぎる、支えとなる一節を、とジュピターと語る。

※「ジュピター」は日本音楽財団から貸与されている1722年製の銘器ストラディヴァリウス



©E. Miyoshi

【ヴァイオリン】五嶋龍
【ピアノ】マイケル・ドゥセク

岩代太郎:『Fukushima 50』楽曲より/ブラームス:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第3番 二短調op.108 ほか

2020.12/4(金) 7:00PM

S 8,300円 A 6,500円 B 5,500円 (税込)

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

先行予約:5/21(木) 一般発売:5/24(日)



©Gary Italiander

【ピアノ】
マイケル・ドゥセク

これまで五嶋龍とは、録音やリサイタルでも共演を重ねてきたマイケル・ドゥセク。2018年8月のリサイタルに続き、今回も伴奏を務める。

我々にも粒揃いの名手が集っています。普通のオケはコンサートマスターが主導しますが、我々の場合は管楽器にリードされる場面が多いんですよ」と笑いながら語ってくれたものだった。明るさとしっとりとした質感が同居する木管や、シャープかつ優美に冴え渡る金管。その唯一無二の響きと存在感が、外に向かって華麗な響きを放つ同管の原動力になっているのだろう。

その意味で、今回演奏されるドビュッシー「牧神の午後への前奏曲」は特に聴きどころだと思われ。なぜなら、1894年に初演され、その後の20世紀音楽の扉を開いた本作は、管楽器の花形フルートが重要な役割を担っているからだ。フランスの詩人マラルメの傑作詩を基にしたこの前奏曲には、「気だるい夏の昼下りにまどろみから覚めた好色な牧神が、美しい水の精たちを追う



クロード・ドビュッシー(1862-1918)

ものの捕まえられず、やがて再びまどろみに沈んでゆく」という官能的な光景が描かれている。ここでフルートは牧神の象徴「パンの笛」の役を与えられており、冒頭で奏でる主題は作品全体を覆う朦朧とした曲想を現出させてみせる。ちなみに本作の日本初演は1920年。今年は折しもそれから100年目にあたるということもあるので、今なお失われ

ない美しく瑞々しい魅力を改めて存分に味わおう。

また、今回演奏されるもう2人の作曲家、サン＝サーンスとストラヴィンスキーもドビュッシーと関わりが深いのも興味深い。ドビュッシーと同時代のフランスに生きたサン＝サーンスは、古典派やロマン派の古き佳き音楽を好む作風の持ち主だったことから、生前はドビュッシーが生み出す新しく耳慣れない印象派音楽に批判的だった。今回の演出であるヴァイオリン協奏曲第3番は1881年初演なので、「牧神」と同時期に書かれたものだが、優雅さと壮麗さを備えた和声や旋律の数々は、ドビュッシーとの違いを浮き彫りにしつつ、各曲の魅力を再確認させてくれるはずだ。

一方、19世紀末のロシアに生まれ、20世紀のフランスで活躍した

指揮…トゥガン・ソビエフ
ヴァイオリン…ギル・シャム

©Luke Ratray ©Patrice Nin

トゥガン・ソビエフ指揮 パリ管弦楽団 ORCHESTRE de PARIS

管弦楽・パリ管弦楽団
©Marco Borggreve

[指揮]トゥガン・ソビエフ [ヴァイオリン]ギル・シャム
[管弦楽]パリ管弦楽団

ドビュッシー: 牧神の午後への前奏曲
サン＝サーンス: ヴァイオリン協奏曲 第3番 口短調 op.61
ストラヴィンスキー: バレエ音楽「春の祭典」

2020.10/22(木) 7:00PM

S 19,000円 A 16,000円 B 13,000円 C 9,000円

プレミアム 28,000円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

(文 渡辺謙太郎)

ストラヴィンスキーは、ドビュッシーから強い影響を受けており、今回の演出「春の祭典」(1913年初演)はまさにその最高傑作のひとつ。複雑なリズムや不協和音が精緻に組み合ったこの近代音楽の金字塔が、「牧神」延長線にあることを思いながら聴くと、新たな感動と気づきも多いのではないだろうか。

そして、これらの作品を若き俊才トゥガン・ソビエフの指揮で聴ける喜び。ロシアに生まれ、パリ管と並ぶトゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団の音楽監督として大成功を収めている彼は、ストラヴィンスキーの足跡に重なるようで、感慨深いものがある。

2年ぶりの来演がすでに注目を集めている
パリ管弦楽団公演。今号では、
コンサートで演奏されるフランスの作曲家
ドビュッシー「牧神の午後への前奏曲」を
はじめ、魅力的なプログラムを
フィーチャーする。

日本初演から折しも100年
瑞々しく美しい魅力

今秋2年ぶりに来日するパリ管弦楽団の大坂公演まで半年を切り、期待もいよいよ高まってきたのではないだろうか。この名門の魅力としてよく語られるのが、洒落な表現力と、音色の豊かさ。前者は風刺に長けたフランス人の国民性の賜物と思われるが、後者の原動力は何だろう。

その答えは、管楽器。同管の副コンサートマスター・千々岩英一は、かつてのインタビュで、「フランスは管楽器大国なので、



合言葉は「ラテンでマンボ」
暑い夏に全員で陽気に、どこまでも楽しく！

早いもので、今年で結成4年目。クラシック、ジャズ、ラテンなど縦横無尽に活躍するトランペッターの菊池寿人を中心に、全国各地で活躍するトップミュージシャン16名で構成されるザ・シンフォニーホール・ビッグ・バンド(以下TSHB)が15回目の公演を行う！

パワフルで輝かしいサウンドが魅力のTSHBだが、今回は7月開催ということもあり、「ラテンでマンボ」をテーマに選曲。中南米音楽の総称を指すラテンには様々なジャンルが存在するが、そのひとつであるキューバ発祥のマンボは、ブロードウェイの女性司祭の名前で「神との対話」を意味する。だが、そんな厳かなイメージとは裏腹に、実際のサウンドは楽しくノリノリ。音楽的には、ルンバにジャズの要素を取り入れているのが特長だ。

今回の公演では、キューバ出身で、「マンボの王様」の異名を持つ作曲家&指揮者にしてピアニストのペレス・ブラードが、メキシコを拠点に世界的な名声を得た彼の楽団のために書いた作品を多数演奏。彼の代表曲で、小学校の教科書にも掲載されているの

「もちろん、第一職業はチェリストですから、チェリストとして頂点を究めるために腕を磨くことは永遠に続きます。ですがロマン派芸術の普及と啓蒙をライフワークとする以上、「音楽人」として音楽芸術を追求したいとの想いから、オーケストラ音楽監督、ラジオパーソナリティ、プロデューサー、そして後進の指導などの活動に身を投じています」

伊藤は、ラフマニノフの作品をライフワークとし、今回は、ラフマニノフが最も尊敬していたチャイコフスキーを演奏する。

「私はチェリストアナトリイ・ブランドウコフの曾孫弟子で、彼はチャイコフスキー、ラフマニノフと深い親交を結び、多大な影響を与えました。そして私は、両作曲家の作品を真に伝承する、本流を学んで来ました。そういった意味でもチャイコフスキーの作品を演奏出来ることは大きな喜びです。

過去に《ロココの主題》による変奏曲》を何度も演奏してきた伊藤であるが、「一度だけ弾き振りの形で演奏したこともあった」という。

「チェロ協奏曲(変奏曲)」に見られるシンプルに大きな魅力を感じ

【出演】The Symphony Hall Big Band
【ヴァイオリン】古澤 巖

ペレス・ブラード:マンボNo.5 / 闘牛士のマンボ / マンボ・ジャンボ / セレン・ローサ / 竹下欣伸:FULLHOUSE ★ / アリ・パローソ:ブラジル ★ / ジ・セグーニャ・ジ・アブレウ:ティコ・ティコ ★ ほか ★古澤 巖共演曲

2020.7/20(月) 7:00PM
S 5,500円 A 4,400円 B 3,300円 (税込)
【お問合せ】大阪アートエージェンシー 072-648-3852
【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中



回のセッションでは、TSHBの個々人と古澤が繰り広げるアドリブの応酬が多く、ファンを魅了し続けてきた。今回はその掛け合いがさらに熱く洗練されたものになることが期待される。新型コロナウイルス感染症の影響で私たちの溜まりに溜まった鬱憤をあざやかに吹き飛ばしてくれることだろう!!

(文 渡辺謙太郎)



「チャイコフスキーを演奏出来ることは大きな喜び」
チェリスト 伊藤悠貴インタビュー

「真夏のチャイコ3連投!熱狂コンチェルト」には3人のソリストが登場する。ここでは、ロンドンを拠点に幅広く活動するチェロの伊藤悠貴に迫りたい。

彼はチェロの魅力をこう語る。

「一言で言えば、間違いなくそれは音ですが、最大の魅力は、歌曲を他のどの楽器よりもよく表現できるところです。人の声は、良くも悪くも生々しさを持っています。特にラフマニノフの歌曲やドイッ・リートにおいて、その生々しさよりも純音楽としての芸術性を追求するのには、チェロの音色は最も適していると思います」

最初の転機は、渡英時。

「チェリストになる決心をしたのは渡英後でした。ダヴィッド・ゲリンガス、ウラディーミル・アシュケナージ、小澤征爾といった私が尊敬する芸術家たちとの出会いや共演も、重要なターニングポイントであり、その経験と思い出を胸に今日までやって来ました」

ヨーロッパでも幅広く活動を行ない、2013年創設のイギリスのナイツブリッジ管弦楽団では芸術監督を、そしてアングラのカメラ・ラー・アンダーで特別客演指揮者を務める。

「もちろん、第一職業はチェリストですから、チェリストとして頂点を究めるために腕を磨くことは永遠に続きます。ですがロマン派芸術の普及と啓蒙をライフワークとする以上、「音楽人」として音楽芸術を追求したいとの想いから、オーケストラ音楽監督、ラジオパーソナリティ、プロデューサー、そして後進の指導などの活動に身を投じています」

伊藤は、ラフマニノフの作品をライフワークとし、今回は、ラフマニノフが最も尊敬していたチャイコフスキーを演奏する。

「私はチェリストアナトリイ・ブランドウコフの曾孫弟子で、彼はチャイコフスキー、ラフマニノフと深い親交を結び、多大な影響を与えました。そして私は、両作曲家の作品を真に伝承する、本流を学んで来ました。そういった意味でもチャイコフスキーの作品を演奏出来ることは大きな喜びです。

過去に《ロココの主題》による変奏曲》を何度も演奏してきた伊藤であるが、「一度だけ弾き振りの形で演奏したこともあった」という。

「チェロ協奏曲(変奏曲)」に見られるシンプルに大きな魅力を感じ

【チェロ】伊藤悠貴 **【ヴァイオリン】川久保賜紀**
【ピアノ】上原彩子 **【指揮】飯森範親**
【管弦楽】日本センチュリー交響楽団

チャイコフスキー:ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 op.33
チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35
チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23

2020.8/2(日) 2:00PM
S 6,600円 A 5,500円 B 4,400円 (税込)
【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中

(文 道下京子)

ライト・シンフォニックコンサート ~大人の贅沢~

酸いも甘いも知り尽くした
大人たちの心に迫る、
とっておきのコンサート



[指揮]松元宏康
[ヴァイオリン]川井郁子
[管弦楽]大阪交響楽団

発売中

ウィヴァルディ「四季」より／バルトーク「ルーマニア民俗舞
曲 BB76」／川井郁子「ホワイト・レジェンド「白鳥の湖」より
／M.モノ「愛の讃歌」／G.M.ロドリゲス「ラ・クンパルシータ」
ピアノ「ソレダッド（孤独）」／J.ウィリアムズ「シンドラの
リスト」／ホルスト「ジュピター」 ほか

2020.7/18(土) 2:00PM

S 5,500円 A 4,400円 (税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール／公益社団法人大阪交響楽団

オールバッハ名曲選!! 真夏の オルガン コンサート 2020

夏恒例!オルガンファンを虜にする
オールバッハ名曲選に新星が登場!

[オルガン]アダム・タバイディ
(第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

発売中

J.S.バッハ「前奏曲とフーガ ト長調 BWV541」／トリオ・ソナタ ハ
長調 BWV529／さまざまな手法による18のライプツィヒ・コ
ラール集より いざ来たれ、異教徒の救い人よ BWV659／
シュープラー・コラール集より 目覚めよ、と呼ぶ声あり BWV645
／フーガ ト短調 BWV578／J.S.バッハ「デュプレカンタータ」[神
よ、われら汝に感謝す] BWV29より シンフォニア ニ長調／ヴィ
ヴァルディ、J.S.バッハ「オルガン協奏曲 ニ短調 BWV596

2020.7/25(土) 7:00PM

※休憩なし、約60分間のコンサートです。

全席指定 2,200円 (税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール



オルガン:アダム・タバイディ

今夏で5回目の開催となり、ザ・シンフォニーホール
の夏の風物詩のひとつとして人気を博す「オール
バッハ名曲選!! 真夏のオルガンコンサート」。毎年、
オルガンファンが集結し、チケット完売を記録して
いる。
気鋭のオルガニストが出演することにも注目を集
めている本コンサートだが、今年は2019年9月
に札幌コンサートホールKitaraの第21代専属
オルガニストに就任したアダム・タバイディが登場。
ハンガリー出身のタバイディは、ヴェルサイユ宮殿王
室礼拝堂、シャルトル大聖堂などで多数コンサート
を開催してきた実績を持ち、パリ・ノートルダム大聖
堂では初のオルガニスト研修生にも選ばれた。
ザ・シンフォニーホールが誇るパイプオルガンは、
3732本のパイプから紡ぎだされる多彩で明瞭な
音が魅力。残響2秒というクラシック音楽にとって
最適なザ・シンフォニーホールに鳴り響くと、まるで
巨大な楽器の中で音を聴いているような、壮大で幻想
的な体験ができ、これがオルガンファンを虜にする。
タバイディが「色彩豊かなプログラムを楽しんで
ほしい」と期待を込めた名曲たちにも注目だ。

週末の午後のひとときを小粋なプログラムによる
コンサートで贅沢に過ごしてみませんか?本公演で
は、ヴィヴァルディの「四季」から、チャップマンの名曲
「愛の讃歌」、そしてピアソラの「ソレダッド（孤独）」
まで、多彩なプログラムが用意されており、ワンラン
ク上の大人の時間へと誘ってくれる。
ソリストは、喜怒哀楽を巧みに表現することにか
けて定評のある川井郁子。作曲家としても活躍する
川井は、今年でアルバムデビュー20周年。和洋の音
楽の融合をはじめ、時代性や民族を超えて音楽表現
することは大事なライフワークと語る。自作「ホワ
イト・レジェンド（白鳥の湖より）」に加え、ホルスト
の「ジュピター」などでも華やかな妙技を展開してく
れるだろう。
指揮は各方面で活躍中の松元宏康。昨年のM・I
グランプリ予選にも出演した異色の経歴をもつマエ
ストロは、ジョン・ウィリアムズの「シンドラのリス
ト」といった作品もお手のもの。さらに硬派なク
ラシックはもちろんのこと、趣向を凝らした画期的
な企画にも数々登場してきた、大阪交響楽団の迫力
のある響きも楽しみにしたい。(文 伊藤制子)



BEST OF BEETHOVEN

ベートーヴェン生誕250周年
日本センチュリー交響楽団×
ザ・シンフォニーホール

feat.BB Vol.1
ピアノ:横山幸雄

Interview

豪華ソリストが彩るベートーヴェン生誕250周年!
シリーズトップバッターの横山幸雄インタビュー

ベートーヴェン生誕250周年を
記念するプロジェクト「BEST
OF BEETHOVEN」が3回
シリーズとして始動する。楽聖の
名曲をたっぷり楽しめることに加
えて、今もつとも旬のソリストた
ちがベートーヴェンの協奏曲を演
奏する注目の企画だ。トップバッ
ターはピアノ協奏曲「皇帝」を弾く
横山幸雄。デビュー以来長く手掛
けてきたレパートリーだ。
「初めて知ったのは子供の頃の
レコードから。レコードから聴こ
えてくる「皇帝」は輝かしく、理解
しづらいところがないという印象
でしたが、実際に自分で弾いてみ
ると必ずしも指使いがスムーズ
に行きやすいわけでもなく、意外
と思いつ通りにいかない部分にもど
かしさを感じ、対応するのに少し時
間がかかったような気がしました
が、最近では自分のイメージ通りの
演奏に近づき、イメージネーション
を広げていくことが可能だと感じ
るようになりました」
ベートーヴェンといえばピアノ
の発展とともに生きた作曲家だ。
「ピアノという楽器との関連性
で言えば、ベートーヴェンは重要
な役目をし、それはちょうど楽器

BB Vol.1 「皇帝」

[ピアノ]横山幸雄
ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調「皇帝」op.73／交響曲 第7
番 イ長調 op.92

2020.8/9(日) 2:00PM

発売中

BB Vol.2 「英雄」

[ヴァイオリン]竹澤恭子
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.61／交響曲 第3番 変ホ長
調「英雄」 op.55

2020.9/8(火) 7:00PM

発売中

BB Vol.3 「運命」

[ピアノ]関本昌平
[ヴァイオリン]郷古 康 [チェロ]横坂 源
ヴァイオリン、チェロ、ピアノのための三重協奏曲 ハ長調
op.56／交響曲 第5番 ハ短調「運命」 op.67

2021.2/21(日) 2:00PM

先行予約:9/24(木)
一般発売:9/27(日)

[指揮]飯森範親

[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

[各日]S 6,600円 A 5,500円 B 4,400円 (税込)

[お問合せ]センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311

[主催]公益財団法人日本センチュリー交響楽団

ザ・シンフォニーホール

の発展と生涯が重なったというこ
とでもあります。それまでの先
輩作曲家と比べてはるかにダイナ
ミックレンジの幅が広く、音の数
も多いことが特徴です。それに相
まって音楽としてのメッセージ性
が強く、聞く人の心に沁みっていく
魅力があります」
飯森範親 日本センチュリー交
響楽団とは、共演を重ねてきた。
「飯森さんはエネルギーが
統率性に優れた素晴らしい音楽
家。日本センチュリー交響楽団は
優秀なメンバーが経験を積み、ア
ンサンブルとしての円熟味も感じ
られる次元にありますね。優れた
仲間達とその時しか出来ない1回
きりのインスピレーションを感じ
ています」
8月の演奏会を皮切りに、シ
リーズは竹澤恭子がヴァイオリン
協奏曲を弾く第2回、そして関本
昌平、郷古 康、横坂源という3人の
俊英による三重協奏曲が披露さ
れる第3回へと続くが、「ベートー
ヴェンの音楽の多様性と深さを
感じていただければ」と横山は語
る。インタビュの中で、「皇帝」
には「今の時代に忘れられがちな
〈前向きに力強く生きていく〉とい
うメッセージ性が感じられる」と
いう横山の言葉に、深く心を動か
された。様々な困難にリアルタイ
ムで向き合っている現代にあって
横山は、スケールの大きい力強い
演奏で私たちを魅了し、生きる希
望と勇気を与えてくれるに違いな
い。(文 伊藤制子)

新型コロナウイルス感染拡大の状況を受け、3月からのコンサートの中止・延期が決定しています。
ここでは、振替公演日が決定している公演をご紹介します。

～ニューアルバム「ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ集」
日本・欧州同時発売記念～福間洸太郎 ピアノ・リサイタル

2020.5/3(日・祝)→振替公演 **2020.7/18(土)**

映画『蜜蜂と遠雷』でさらに人気に火をつけた福間洸太郎。
着実に深化するスケールの大きな演奏がホールを揺らす!

[ピアノ] **福間洸太郎**

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第8番 op.13「悲愴」/ピアノ・ソナタ 第17番 op.31-2「テンペスト」
ピアノ・ソナタ 第14番 op.27-2「月光」/ピアノ・ソナタ 第23番 op.57「熱情」

2020.7/18(土) 7:00PM
全席指定 4,000円 (税込)
[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]MIYAZAWA & Co./ザ・シンフォニーホール



コロンネリカ(ソプラノ)オペラ・ラティーナ

2020.6/6(土)→振替公演 **2021.2/13(土)**

世界の平和と愛を願って歌う透明感あふれる歌声が
聴くもの心をじっくり癒していく

[ソプラノ] **コロンネリカ** [ピアノ] **山田武彦**

グノー:アヴェ・マリア/コロン:被爆のマリアにささげる讃歌/シューベルト(C.シュエバルト):ます/サティ:ジュ・トゥ・ヴー/エルネスト・レクオーナ:マリア・オ ほか

2021.2/13(土) 7:00PM
全席指定 3,300円 (税込)
[お問合せ]テレビマンユニオン音楽事業部 03-6418-8617
[主催]テレビマンユニオン/ザ・シンフォニーホール



プロジェクトマッピング×パイプオルガン
超絶のボヘミアン・ラブソディ QUEEN×ABBA

2020.5/17(日)→振替公演 **2020.9/18(金)**
※5/17(日) 5:30PMからの追加公演は中止

大人気「超絶シリーズ」の新企画!社会現象化した
QUEENとABBAのヒット曲がパイプオルガンで生まれ変わる!

[オルガン] **大木麻理**

[QUEEN]I WAS BORN TO LOVE YOU ★/WE WILL ROCK YOU/DON'T STOP ME NOW/
BOHEMIAN RHAPSODY★ [ABBA]MAMMA MIA ★/DANCING QUEEN ★/VOULEZ VOUS ★/
LAY ALL YOUR LOVE ON ME ★プロジェクトマッピング付

2020.9/18(金) 7:00PM ※休憩なし。約60分間のコンサートです。
全席指定 2,750円 (税込)
[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 [主催]ザ・シンフォニーホール



その他振替公演情報

振替公演が決定しているコンサート情報をお知らせいたします

■日本センチュリー交響楽団 第244回定期演奏会
2020.4/9(木)→**2020.6/29(月) 7:00PM**
[お問合せ]センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311

■未来へなぐ『集』コンサート2020
2020.5/5(火・祝)→**2021.5/3(月・祝)** 開演時間未定
[お問合せ]関西音楽人のちから『集』 info@tsudoi2011.com

■東海大学付属大阪仰星高等学校吹奏楽部 第31回定期演奏会
2020.5/6(水)→**2020.12/24(木) 1:00PM/6:00PM**
[お問合せ]東海大学付属大阪仰星高等学校 072-849-7211

■大阪シンフォニック クワイア
2020.5/10(日)→**2020.9/10(木) 6:30PM**
[お問合せ]AMATI 03-3560-3010(11:00~15:00/土日祝休み)

■近畿大学附属高等学校吹奏楽部
第47回定期演奏会 特別講演 in Summer
2020.5/4(月・祝)→**2020.8/16(日) 1:00PM/7:00PM**
[お問合せ]吹奏楽部顧問 06-6722-1261

■チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル
2020.5/24(日)→**2020.12/29(火) 2:00PM**
[お問合せ]ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000
(平日10:00~17:30)※営業時間変更の場合有

Concert Information [振替公演のご案内]

新型コロナウイルス感染拡大の状況を受け、
3月からのコンサートの中止・延期が決定しています。
ここでは、振替公演日が決定している公演をご紹介します。

※このページに記載されている情報は、4月23日時点のものです。
今後の状況により更なる延期や中止になる可能性もございますので、
最新情報はザ・シンフォニーホールのWEBサイトをご注視して頂きますよう、お願い申し上げます。
また、掲載されている曲目は変更になる可能性もございますので、ご了承ください。

神尾真由子 3つのJ.S.バッハ
無伴奏ヴァイオリン・パルティータ

2020.3/6(金)→振替公演 **2020.7/10(金)**

大阪が生んだ国際的ヴァイオリニスト神尾真由子が、
パルティータ全曲に初挑戦。地元で高らかにソロを響かせる。

[ヴァイオリン] **神尾真由子**

J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第1番 短調 BWV 1002/無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番 二短調 BWV 1004/無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第3番 ホ長調 BWV 1006

2020.7/10(金) 7:00PM
全席指定 5,000円 (税込)
[お問合せ]カジモト・イーラス 0570-06-9960 ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]KAJIMOTO/ザ・シンフォニーホール



elegy 横坂 源 チェロ・リサイタル

2020.3/14(土)→振替公演 **2020.6/19(金)**

チェロ界でひとときわ輝きを放つ横坂源の初リサイタル。
小品からソナタまで多彩な選曲で新たなハーモニーを紡ぐ。

[チェロ] **横坂 源** [ピアノ] **萩原麻未**

J.S.バッハ:プレリュード ~無伴奏チェロ組曲 BWV1007 第1番より/カサド:親愛なる言葉/フォーレ:夢のあとに/エレジー op.24/ファリヤ:火祭りの踊り/シューマン:アダージョとアレグロ op.70/ラフマニノフ:ヴォカリーズ op.34-14/チェロ・ソナタ ト短調 op.19 ほか

2020.6/19(金) 7:00PM
全席指定 3,300円 (税込)
[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 [主催]ザ・シンフォニーホール



バッハ国際コンクール優勝 富田一樹 バッハ名曲決定版

2020.3/21(土)→振替公演 **2020.6/6(土)**

バッハに魅せられ研究を続ける富田の待望のリサイタル!
満を持して臨む「バッハ名曲決定版」は必聴!

[オルガン] **富田一樹**

前奏曲とフーガ イ短調 BWV543/おお人よ、汝の罪の大きいなるを嘆け BWV622/「マルチェッロのアダージョ」(オーボエ協奏曲より第2楽章) BWV974-2/前奏曲とフーガ ハ長調 BWV531/トリオ 二短調 BWV583/主よ、人の望みの喜びよ BWV147/パッサカリア ハ短調 BWV582

2020.6/6(土) 7:00PM ※休憩なし。約60分間のコンサートです。
全席指定 2,200円 (税込)
[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 [主催]ザ・シンフォニーホール





ソプラノ・幸田浩子

時代を超えて歌い継がれてきた日本のうたが、ザ・シンフォニーホールの「秋」を彩る

**遠い思い出を回想させる
懐かしの名曲の数々が並ぶ**

昔懐かしい唱歌や童謡は、親から子、子から孫へと受け継がれてきた。叙情性あふれるメロディの美しい日本の歌は、時代を超えて今もなお、私たちの心に鮮やかに響き続けている。

2016年に始まった「美しき日本のうた」は、ザ・シンフォニーホールの人気公演のひとつ。今秋、シリーズの第4回が開催されることになり、幅広いファンから愛されているソプラノ歌手の幸田浩子が初めて登場する。

大阪府出身で、東京藝術大学大学院を経て本場イタリアへ渡り、研鑽を積んだ。カタニーア・ベッリーニ大劇場やローマ歌劇場、シュトゥットガルト州立劇場など、ヨーロッパの主要な歌劇場に次々と出演。そして伝統あるウィーン・フォルクスオーパーで専属歌手として契約し、『魔笛』の夜の女王役や『ファルスタッフ』のナンネッタ役などで活躍した。帰国後も、新国立劇場『ホフマン物語』のオランピア役などのオペラの舞台やリサイタル、そしてラジオのパーソナリティやテレビのMCなど、ジャンルの枠を超えた活動を展開。東日本大震災以降、ヴァイオリニストで姉の幸田さと子とチャリティ・コンサートを続

けている。また、これまでに2枚の「日本のうた」をリリースしており、まさにこのシリーズにぴったりのアーティストだ。

プログラムには、だれもが知っている「赤とんぼ」や「小さい秋みつけた」、「里の秋」など、秋をイメージさせる歌がちりばめられている。そして、私たちの遠い思い出を回想させる童謡や懐かしの名曲も並ぶ。明治生まれの作曲家、山田耕筰の「この道」からたちの花「鐘が鳴ります」や成田為三作曲の「浜辺の歌」、島崎藤村の詩に大中寅二が作曲した「椰子の実」、寺山修司の詩による中田喜直作曲「悲しくなった時は」、坂本九の昭和のヒット曲「見上げてごらん夜空の星を」、そして平成に歌われた中島みゆきの「糸」まで、それぞれの世代が耳にした作品揃いで、その内容はバラエティに富んでいる。ピアノは、作曲家・編曲家としても活動する藤満健。

幸田の透き通るような歌唱は、日本の歌の繊細なニュアンスをさらに引き立てる。そして彼女特有の気品漂う軽やかな声とその美しい響きで、聴く者を魅了することだろう。

世代を問わず人々に愛され、歌い継がれてきた日本の歌が、秋のザ・シンフォニーホールにふたたび蘇る。

(文 道下京子)

[ソプラノ] 幸田浩子
[ピアノ] 藤満 健

2020.10/3(土) 7:00PM

全席指定 4,400円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 5/21(木)
一般発売: 5/24(日)

【第一部】

この道 (北原白秋・詩/山田耕筰・曲)
かやの木山の (北原白秋・詩/山田耕筰・曲)
からたちの花 (北原白秋・詩/山田耕筰・曲)
赤とんぼ (三木露風・詩/山田耕筰・曲)
鐘が鳴ります (北原白秋・詩/山田耕筰・曲)
ばらの花に心をこめて (大木惇夫・詩/山田耕筰・曲)
ちいさい秋みつけた (サトウハチロー・詩/中田喜直・曲)
里の秋 (斎藤信夫・詩/海沼 實・曲)
ひぐらし (北山冬一郎・詩/團 伊玖磨・曲)
花季 (大木 実・詩/團 伊玖磨・曲)
希望 (北原白秋・詩/團 伊玖磨・曲)

【第二部】

浜辺の歌 (林 古溪・詩/成田為三・曲)
椰子の実 (島崎藤村・詩/大中寅二・曲)
浜千鳥 (鹿島鳴秋・詩/弘田龍太郎・曲)
初恋 (石川啄木・詩/越谷達之助・曲)
悲しくなったときは (寺山修司・詩/中田喜直・曲)
このみち (金子みすゞ・詩/伊藤康英・曲)
波零 (なみだ) (菅野祥子・詩・曲)
糸 (中島みゆき・詩・曲)
見上げてごらん夜の星を (永 六輔・詩/いずみたく・曲/藤満 健・編曲)



大注目! TKWO 創立60年記念委嘱作品《交響曲第3番》が初演!

**大井剛史&TKWOによる初演
驚き以外のなにものでもない**

東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)は、1960(昭和35)年に結成された。設立時の団員数は「15名」。しかも楽器経験者はたった1人。大半は楽譜も読めない若者たちだった。だが、陸軍戸山学校軍楽隊の楽長だった水島数雄、副楽長・河野貢造の二人による情熱的な指導で、次第に実力を貯え、団員も増えていった。

彼らのすごかったところは、まだ吹奏楽といえ、マーチやクラシック名曲ばかりを演奏していた時代に、オリジナル曲を次々と日本初演し、吹奏楽界のレパートリーを一気に広げた点にある。

それを担ったのが、1984年に同団の常任指揮者に就任した、フレデリック・フェネル(1914-2004)である。彼は1950年代に、米イーストマン音楽院でウインド・アンサンブルを結成し、理想的な吹奏楽編成を確立、埋もれていたレパートリーを多く発掘した。ホルストの《第一組曲》《第二組曲》、さらには、グレインジャーの《リンカンシャーの花束》といった名曲は、ほとんど、このフェネルによって広まったといっても過言ではない。

TKWOが創立60年を迎えた

初演からはば100年、いまや古典となった名曲群がどのように響くか、楽しみだ。

今回は、古典のみならず、吹奏楽最前線の曲も登場する。まずは注目の若手、芳賀傑の《水面に映るグラデーションの空》だ。2018年にフランスで開催された、第6回クー・ド・ヴァン国際交響吹奏楽作曲コンクールで第1位と聴衆賞を受賞した最新名曲だ。

そして、この日最大の注目は、日本音楽界の至宝、保科洋による、TKWO創立60年記念委嘱作

[指揮] 大井剛史
[吹奏楽] 東京佼成ウインドオーケストラ

G.ホルスト: 吹奏楽のための第一組曲/芳賀 傑: 水面に映るグラデーションの空/P.グレインジャー/F.フェネル 校訂: リンカンシャーの花束/保科 洋: 交響曲 第3番(TKWO委嘱新作)

2020.11/8(日) 3:00PM

S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円 (税込)

[お問合せ] 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

[主催] 佼成文化協会 東京佼成ウインドオーケストラ/ザ・シンフォニーホール

先行予約: 5/21(木) 一般発売: 7/8(水)

品《交響曲第3番》が初演されることだろう。2016年、作曲家80歳の記念に書き下ろされた《交響曲第2番》は、「吹奏楽編成で書かれた交響曲の最高傑作」の声もあった。あれからわずか4年、早くも第3番が登場し、しかもそれが、大井剛史&TKWOによって初演されるというのだから、驚き以外のなにものでもない。まさにこれは、日本音楽界における本年最大の「事件」である。

このような「事件」が、ザ・シンフォニーホールのステージで「発生」することを、関西の音楽ファンはぜひ誇りに思っていたきたい。

(文 富樫鉄火/音楽ライター)

CHARLES RICHARD HAMELIN

シャルル・リシャル＝アムラン

オール・ショパンプログラム 「雨だれ」

前回完売を記録した感動のリサイタル! ショパンとアムランの魂が重なり、再びホールを沸かす!

ショパンがまるで生きている
ような影を感じさせる

ショパンの生誕210周年にあたる今年は、5年に一度のショパン国際ピアノコンクールが開催される。ショパンといえば、心に迫ってくるピアニストがいる。前回の同コンクールで第2位に輝いたシャルル・リシャル＝アムランだ。2年ぶりに、オール・ショパンプログラムで、ザ・シンフォニーホールの舞台に戻ってくる。

2018年のリサイタルでは、アムランは柔らかなピアノのタッチで甘美なメロディを、時には魔



術師のように激しく鍵盤を操りながら嵐のような慟哭を奏でた。

「ショパンの音楽は自分に語りかけてくる感じがする」とアムランが話すように、ピアノを弾く姿や音色からは、ショパンがまるで生きているような影を感じさせる。ショパンとアムランの魂が重なり、満席のザ・シンフォニーホール中に響き渡った。いつまでも鳴り止まない拍手と歓声に包まれた光景を、昨日の事のように思い出す。

今回のプログラムは、前半にショパンがワルシャワ音楽院を卒業し、祖国ポーランドを離れた後に作曲された《アンダンテ・スビアナートと華麗なる大ポロネーズ》が披露される。若きショパンの希望に満ち溢れた姿と望郷の念が感じられる名曲で、映画「戦場のピアニスト」のエンドロールにも使われた。続いて演奏される《ピアノ・ソナタ第3番》は円熟期の傑作だ。ショパンの父が死去した3ヶ月後に完成されたと言われ、深い愛と哀しみの旋律が繰り広げられる。

後半は、20代後半に作曲された《24のプレリュード》で締めくくられる。筆者には、ショパンが生きた日々を、回想するように聴こえてくる曲だ。病魔にむしばまれ、死の淵をさまよった人間だからこ

そ表現できる生と死、安堵と恐怖を行き来するような音楽が展開され、ささやかれているような夢幻の響きが心に刻み込まれる。第15番「雨だれ」は、降り続く雨のような和音が連打され、文筆家で恋人のジョルジュ・サンドが「天から彼の胸に落ちる涙」と評したと伝えられている。第24番の心臓の音のような重い響きで幕が閉じられ、「鍵盤の詩人」と称されるショパンのこの曲に遺した思いが測られるのだ。

「音楽とは、音で描く絵画だ」と思っている」と語るアムランが、ショパン国際ピアノコンクールから5年の時を経て、世界中で演奏を重ねた豊かな経験で、ショパンの人生をどのように奏でるのだろうか。まだ見ぬ絵画に、もう心はときめいている。

(文 金子真由)

[ピアノ]シャルル・リシャル＝アムラン

ショパン:アンダンテ・スビアナートと華麗なる大ポロネーズ 変ホ長調 op.22/ショパン:ピアノ・ソナタ 第3番 短調 op.58/ショパン:24のプレリュード op.28

2020.9/19(土) 7:00PM

全席指定 4,400円(税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

岡 幸二郎 ベスト・オブ・ミュージカル・コンサート in OSAKA

迫力満点のパフォーマンスを見逃さない！
最強のステージが大阪上陸！

[出演]岡 幸二郎 [スペシャルゲスト・第1弾／オルガン:]大木麻理
[指揮]竹本泰蔵 [管弦楽:]日本センチュリー交響楽団

発売中

『ジキルとハイド』より「ア・ニュー・ライフ」「ディス・イズ・ザ・モーメント」／『オペラ座の怪人』より「ミュージック・オブ・ザ・ナイト」／『ミス・サイゴン』より「アイドイ」「命をあげよう」／『レ・ミゼラブル』より「スターズ」「ブリング・ヒム・ホーム」ほか ※曲目・曲順は変更になる場合がございます。

2020.9/6(日) 3:30PM

S 10,000円 A 8,000円 B 6,000円 (税込)

限定プレミアムシート 13,000円 (税込) ※ザ・シンフォニー チケットセンターのみ取り扱い

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]日本コロムビア株式会社／ザ・シンフォニーホール



岡幸二郎

186センチの長身と彫りの深いマスク、溢れんばかりの豊かな声量と表現力。劇団四季を代表する人気ミュージカルスターで、大河ドラマやトークショーへの出演などマルチに活躍する岡幸二郎が、ザ・シンフォニーホールで待望の初公演を行う！

岡はこれまで、「レ・ミゼラブル」のジャバールや、「ルドルフ・ザ・ラスト・キス」の首相ターフェなどを筆頭に、「黒くて濃い」強烈な役を得意としてきた。そんな彼は、2014年のデビュー25周年に「ベスト・オブ・ミュージカル」と題したアルバムを発表しており、今回はその収録曲を多数披露する。

「オペラ座の怪人」「レ・ミゼラブル」「ミス・サイゴン」など誰もが一度は聴いたことのある名曲がセレクトされているので、ミュージカルに馴染みのない方も入門やダイジェストのように楽しめるのが嬉しい。また今回は、アルバムで共演した竹本泰蔵指揮・日本センチュリー交響楽団との再タッグで出演するので、各曲が本来持つスケールの大きさとサウンドを充実した形で味わえることだろう。

中でも、17年間にも渡って歌い続けた十八番の「レ・ミゼラブル」と、出演を機に基金も立ち上げたほど思い入れの深い「ミス・サイゴン」は必聴だ！！

(文 渡辺謙太郎)

“讃” 平和を讃えて 広島交響楽団 第405回プレミアム定期演奏会 大阪公演

広響がゲルハルト・オピッツを迎えて、
3年ぶり大阪定期演奏会を開催！

[指揮]下野竜也 [ピアノ]ゲルハルト・オピッツ
[管弦楽]広島交響楽団

発売中

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」(ベートーヴェン・コンチェルト・シリーズ)／ブルックナー:交響曲 第4番 変ホ長調「ロマンティック」(ハース版)

2020.11/15(日) 2:00PM

全席指定 5,500円 (税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]公益社団法人 広島交響楽協会／ザ・シンフォニーホール



指揮:下野竜也



ピアノ:ゲルハルト・オピッツ

©HT/PCM

管弦楽:広島交響楽団

広島への原爆投下から75年の節目を迎える2020年の秋、中国地方の雄・広島交響楽団が3年ぶりにザ・シンフォニーホールに帰ってくる。広響は今シーズン、当公演の指揮者でもある音楽総監督・下野竜也の下、「讃、平和を讃えて」をテーマに活動中。持ち前の温かく練れたサウンドと、平和の象徴としての存在をますます高めている。

また当公演はプレミアムコンサートということで、ドイツ正統派の巨匠ゲルハルト・オピッツが前半にソリストとして登場。彼は2018年にザ・シンフォニーホールのピアノ(スタインウェイ)を選定するなど、かねてから深い間柄でも知られる。今回は彼の十八番でもあるベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」を演奏予定ということで、演奏者、楽器、作品、音響のいずれもが最高の状態にある、スリリングかつ優美な名演を聴かせてくれることだろう。

そして後半は、下野&広響が毎年1曲ずつ取り組んでいる長大なブルックナーの交響曲より、比較的短い演奏時間や親しみやすい曲想から人気が高い第4番「ロマンティック」を。作曲者が生きたウィーンで学び、過去にも本作を指揮して明晰で瑞々しい解釈を示してきた下野。この地で、広響と共に、平和への祈りも織り込んで、さらなる崇高な高みへと駆け上がる！

(文 渡辺謙太郎)

日本センチュリー交響楽団 ハイドンマラソン

覇気に満ちたハイドンの交響曲。
ハイドンマラソン第21回目はトロンボーンを迎えて。

[指揮] 飯森範親 [管弦楽] 日本センチュリー交響楽団
[トロンボーン] ファブリス・ミリシェー

M.ハイドン: アルトトロンボーン協奏曲 二長調/ハイドン: 交響曲 第40番 へ長調/交響曲 第34番 二短調/交響曲 第72番 二長調

2020.10/23(金) 7:00PM

A 5,000円 B 4,000円 (税込)

[お問合せ] センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311

[主催] 公益財団法人日本センチュリー交響楽団

先行予約: 5/21(木) 一般発売: 5/25(月)



指揮 飯森範親

日本センチュリー交響楽団と首席指揮者の飯森範親が、ヨーゼフ・ハイドンによる104の交響曲を、8年かけて全曲演奏する「ハイドンマラソン」。舞台をザ・シンフォニーホールへ移して3回目、第21回は「エステルハージ家のハイドンⅡ」と題して。31歳の青年作曲家が書いた、覇気に満ちた作品の魅力が掘り下げる。

2015年から4回のペースで、ステージ演奏と併せて録音し、CDリリースとハイレゾ配信を行う、壮大なプロジェクト。1月には9枚目となるCDがリリースされ、「ハイドンの交響曲って、これほど面白かったのか」と、いつもの共感を得ている。

第21回は、同じ1763年の作ながら、番号が大きく離れた、第40、34、72番が軸に。交響曲第40番は、構築美に彩られた最終楽章のフーガが魅力的。そして、初の短調による交響曲とされ、深い憂愁と典雅さの両方を湛えた第34番。さらに、かつて49歳での作品とされたが、後年の研究で作曲年代が大幅に繰り上がった、気高い雰囲気を持つ第72番を聴く。

さらに、ハイドンにゆかりのある、ひねりの効いた作品が併せて楽しめるのも、当シリーズの魅力。今回は、2007年に難関・ミュンヘン国際コンクールを、トロンボーン奏者として初めて制したファブリス・ミリシェーを独奏に迎え、ハイドンの5歳下の弟ミヒャエルの協奏曲が披露される。

(文 笹田和人)

〈名曲シリーズ〉大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソワレ・シンフォニー Vol.16

2020年シーズン注目公演!
巨匠と若手実力派、三つ巴の共演が実現!

[指揮] 角田鋼亮 [ヴァイオリン] 前橋汀子 [オルガン] 富田一樹
[管弦楽] 大阪フィルハーモニー交響楽団

サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン/マスネ: タイスの瞑想曲/サン＝サーンス: 歌劇「サムソンとデリラ」より「パッカナール」/序奏とロンド・カプリチオーソ/交響曲 第3番 ハ短調 op.78「オルガン付」 ※6:50PMより角田鋼亮によるプレトーク

2020.11/5(木) 7:00PM

A 5,100円 B 3,100円 (税込)

[お問合せ] 大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

[主催] 公益社団法人大阪フィルハーモニー協会/ザ・シンフォニーホール

※大阪フィルチケットセンター他、プレイガイドは5/26(火)一般発売

先行予約: 5/21(木) 一般発売: 5/27(水)



ヴァイオリン 前橋汀子

オルガン 富田一樹

指揮 角田鋼亮

©篠山紀信

©Hikaru Hoshi

春・秋の年2回、名曲中の名曲を、気鋭の指揮者と名ソリストの快演で味わう、ザ・シンフォニーホールのシリーズ「ソワレ・シンフォニー」。7年目のシーズンの秋公演は、ヴァイオリンの前橋汀子とオルガンの富田一樹が登場し、角田鋼亮指揮の大阪フィルハーモニー交響楽団と共に、魅惑の旋律の数々を紡ぐ。

デビューから半世紀以上、楽壇の最前線を疾走し、ザ・シンフォニーホールでは昨年10月、バッハの無伴奏作品全6曲で庄巻の熱演を聴かせたばかりの前橋。今回は、サラサーテ「ツィゴイネルワイゼン」とマスネ「タイスの瞑想曲」「サン＝サーンス」序奏とロンド・カプリチオーソの3曲を艶やかな音色で披露する。

一方、2016年にライブツィヒ・バッハ国際コンクールを制し、昨年7月の「真夏のオルガンコンサート」にも登場した富田。この若き名手をフィーチャーしての、サン＝サーンスの交響曲第3番「オルガン付き」の壮麗なサウンドが、ザ・シンフォニーホールの大空間を満たす。ここへ、同じサン＝サーンスの歌劇「サムソンとデリラ」から「パッカナール」を併せて。

ホールゆかりの名ソリスト、指揮の名匠と大阪が誇る名門楽団、そして、選りすぐりの名曲との競演。きつと、心に残る体験となるはず。また、開演10分前からは角田による、プレトークも予定されている。

(文 笹田和人)

プロジェクションマッピング×パイプオルガン 新・超絶のオペラ座の怪人

新装して2年半ぶりに再演決定!
不動の人気を誇る待望の「超絶シリーズ」

[オルガン] 大木麻理

ミュージカル『オペラ座の怪人』★/ミュージカル『レ・ミゼラブル』★/ミュージカル『キャッツ』★
/映画『天使にラブソングを』/映画『サウンド・オブ・ミュージック』/映画『オズの魔法使い』より
/映画『LA LA LAND』★/映画『美女と野獣』★

2020.11/6(金) 7:00PM ※休憩なし。約60分間のコンサートです。※4歳以上入場可能

全席指定 2,750円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 5/21(木) 一般発売: 5/24(日)



2015年のスタートから、チケットは毎回完売! 当ホールのロゴマークでもあるスイス・クーン社のパイプオルガンとプロジェクションマッピングが織りなす音と光の華々しい饗宴が、今回も盛大に開催される。

今年の新企画「超絶のボヘミアン・ラブソディ QUEEN & ABBA」(※延期P11参照)も人気と注目を集めたが、当公演ではファン待望の「超絶のオペラ座の怪人」を2年3ヶ月ぶりに開催が決定。今回は、新と銘打ち、全曲、編曲がリニューアルされるというので、これは聴き逃せない!

オルガニストは、ブクステフデ国際オルガン・コンクール優勝など、輝かしい賞歴を持ち、ミューザ川崎シンフォニーホールのオルガニストも務める大木麻理が登場する。昨年ザ・シンフォニーホールで開催した「クリスマスオルガンコンサート」、「GIFT クリスマス・キャロル2019」にも出演。繊細さとダイナミックさを備えた演奏で、聴くものを惹きつけた。また、前述の「超絶のボヘミアンラブソディ」にも出演が決定しており、ジャンルを問わない手腕にも期待が高まる。

「オペラ座の怪人」「レ・ミゼラブル」「キャッツ」「天使にラブソングを」「サウンド・オブ・ミュージック」「オズの魔法使い」「LA LA LAND」「美女と野獣」など、前回も披露された演目の数々。その感動に再び、新たな音と光の扉が開こうとしている!!

第6回 関西フィル親子定期演奏会 夏休み自由研究は、これで決まり!! 第2弾 ヨーロッパ一周! 音楽の旅♪

音楽で楽しい、ぐると一周ヨーロッパの旅!
前回大好評の「研究シート」付き!

発売中

[指揮] 藤岡幸夫 [ナビゲーター] 林そよか
[管弦楽] 関西フィルハーモニー管弦楽団

ブラームス: ハンガリー舞曲より 第5番/チャイコフスキー: バレエ「くるみ割り人形」より 花のワルツ/シベリウス: 交響詩「フィンランディア」/ドヴォルザーク: 交響曲 第9番 小短調「新世界より」第4楽章/ラヴェル: 組曲「マ・メール・ロワ」より 美女と野獣の対話/林そよか: 弦楽と打楽器のための「Fantasia」より 第2楽章 ほか

2020.8/10(月・祝) 2:00PM ※4歳以上のお子様からご入場可能です。

A おとな 4,400円 こども 2,750円 B おとな 3,300円 こども 1,650円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール/公益財団法人関西フィルハーモニー管弦楽団



林そよか (作曲家)

藤岡幸夫 (関西フィル首席指揮者)

©HIKAWA

ザ・シンフォニーホールは、毎年夏休みに「関西フィル親子定期演奏会」を開催している。今年で6回目となるこのコンサートの魅力のひとつは、単なる子ども向けコンサートにとどまらず、ツウのおとなにも興味深い、練り上げられたプログラムであり、毎年多くのファミリーや音楽ファンが訪れる。

このシリーズは、昨年「自由研究はこれで決まり!!」のタイトルをきっかけ、さらにパワーアップ。年代順に作品を聴きながら、音楽の歴史を学べるコンサートとして大きな反響を呼んだ。

今年のテーマは「ヨーロッパ一周! 音楽の旅」。ブラームスやチャイコフスキー、ドヴォルザーク、ラヴェルなど、1800年代を生きた作曲家にフォーカスして、同じ時代のさまざまな国々の作曲家の音楽を比べてゆく。昨年とはまた違った内容となるので、リピーターも満足するにちがいない。

音楽でヨーロッパを巡る旅の水先案内人は、第1回からこのシリーズを指揮する藤岡幸夫。そして、このコンサートの構成にたずさわる作曲家の林そよかもナビゲーターとして加わり、自らの作品も披露する。

なお、今年も来場者全員に自由研究として学校へ提出できる「研究シート」が配布される。さまざまな楽器の音色やナビゲーターの説明を聞き、感じたことを書き込もう!

(文 道下京子)